

国土交通省 NETIS(ネティス) 新技術情報提供システムに
(株) 嶋原基礎の「S・RX リーダーレス工法」が登録されました!
【NETIS 登録番号 TH-190001-A】

何ごとにも、キンが肝心。



嶋原基礎のキソは

安全に
正確に
迅速に
効率良く



毎月行われる安全会議



毎日のメンテナンス

ごあいさつ

基礎屋とは？——読んで字の如しで、建造物を造るにあたっての基礎に携わる仕事で、一番最初に行われる工事です。

基礎屋に勤務して積み重ねてきた経験をもって、嶋原基礎を創業したのは昭和58年。社員5名と重機一台でスタートした当社は、さまざまな時代の荒波を超え、今日では社員38名、重機十数台を擁する会社へと成長いたしました。

その成長のキソとなってきたのは、「現場に入ったら、安全できれいな仕事を遂行し、無駄なく一日でも早くお客様にお渡しする」という一貫した企業理念です。

また、この間、よりよい仕事のための問題意識を持つことも大切なこととし、メーカーの重機開発にも深く関わらせてもらいました。重機は我々にとって大切な道具であり、オペレーション技術の研鑽はもとより、メンテナンスにも日々、力を注いでいます。

基礎の仕事は、出来上がった建造物からは見ることはできませんが、それだけに建造物全体を支える根幹であることを誇りとして仕事をしています。これからも、幅広い年齢層の社員が一丸となり、技術と知恵と情熱を結集して、一步一步明日を切り拓いていきたいと思っております。



代表取締役 嶋原 信行



「働く車」と「働く人」が、そろってます。

例えば巨大な橋を建設するにしても、一番最初に行われるのは橋本体の工事ではなく、本体工事を行うための仮設栈橋の建設です。この基礎工事こそ、基礎屋の仕事であり、杭打ち機で、鋼材を地面に打設する作業から始まります。

われわれが挑むのはさまざまな地盤。当社では最も難易の高いみかげ石などの硬質な地盤にも力強く対応しており、その高精度の技術を買われ、東北6県にとどまらず関東・北陸・関西からも技術者派遣の要請を受けるほどです。社員の中には国土交通省大臣による建設マスターの栄誉にあずかった熟練技術者もいます。

各現場では、つねに3人パートで仕事にあたります。重機オペレーターは1人。座席の高い重機の視野・視点から見えない箇所を、他の2人が補いながら安全で高精度の仕事を進めていきます。

同じ現場は二つとありません。だからこそ、各社員が自分で考えながら現場に挑む——当社社員はそんな仕事にやり甲斐を感じている技術者集団でもあります。

工法I ダウンザホールハンマ工法



リーダレス型基礎機械 (RX2300、RX3300) クローラークレーンにオーガを取付け、スクリュー先端にダウンザホールハンマーを取り付け、エアの吐出を利用したピストン運動によって硬質な地盤を削孔していく工法です。



SRX3000 開発こぼれ話



現在さまざまな現場で活躍しているのが【油圧式リーダレス型基礎機械 SRX3000シリーズ】。

1998年、この重機は業界期待のマシンとして誕生しましたが、そこには嶋原基礎の存在が欠かせませんでした。

当時、大型工事が増えていく中、既にあったRX2000をさらにパワフルにできないかというニーズがありました。しかも単にパワフルにするだけでなく、より効率的な性能を追及できないか――。

そこで、SRX3000にはオペレーターが操作しやすいよう、フロント操作のみで長い杭を一度で打ち込む高精度機能が搭載されました。また、従来は杭打機1台を複数のパーツに分けてトラック数台で運搬していたのを、輸送効率向上を目指して本体以外はトラック1台での運搬を可能にしたのです。

これらのアドバイスを行ったのが社長の嶋原信行でした。日立建機の開発部との打合わせを重ねた末に、基礎機械SRX3000の世界で最初の1台目は誕生したのです。その後も同機は改良を重ね、現在はこれを基本としたRX3300へと進化しています。



工法Ⅱ オーガ併用油圧バイブロハンマ工法



リーダレス型基礎機械 (RX2300、RX3300) に油圧オーガを取付け、回転により地盤を削孔。さらに、オーガを油圧バイブロ (高周波杭打抜機) に交換し、杭を打ち込みます。

バイブロのスクリー先端からはエアやセメントミルクを吐出することもできます。



工法Ⅲ バイブロハンマ工法



リーダレス型基礎機械 (RX2300、RX3300) クローラークレーンにバイブロを取り付け、起振力によって杭を打ち抜きます。



会社概要

- 1983年 (昭和58年10月) ● 代表取締役嶋原信行
基礎工事業を宮城県仙台市富沢にて創業
- 1986年 (昭和61年 6月) ● 株式会社 嶋原基礎 設立
- 1987年 (昭和62年 8月) ● 一般建設業許可 宮城県知事より取得
- 1995年 (平成 7年 8月) ● 資本金を700万円に増資
- 1995年 (平成 7年 8月) ● 資本金を1,000万円に増資
- 2002年 (平成14年11月) ● 宮城県名取市本郷に事務所 (資材置場兼用) 移転
- 2007年 (平成19年 4月) ● 宮城県仙台市太白区坪沼に新社屋 (事務所) 移転 現在に至る
- 2017年 (平成29年 7月) ● 資本金を2,000万円に増資
- 2017年 (平成29年 7月) ● 一般建設業より特定建設業許可に変更



主な工事実績

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 仙台東西線、龍ノ口橋梁 (鉄桁) 鹿瀬発電所改修工事のうち土木本工事ならびに関連撤去工事 地方道路交付金工事 (災害防除) 一般国道281号大川目町地区道路災害防除 (A760) 工事 仮締切H型鋼矢板撤去工事 久慈工業高校 防球ネット設置工事 大代水門撤去工事 (その2) 月山沢地区防雪対策工事 日立建機日本 (株) 東北支社建替工事 仙台東西線八木山トンネル他 創価学会 (新) 東北文化会館新築工事 国道45号豊間根トンネル工事 相馬市公共下水道細田ポンプ場作業所 仙台火力発電所工事 大槌漁港災害復旧工事 仙台駅東西自由通路拡幅・東口駅ビル新築 相馬市公共下水道細田ポンプ場作業所 第一合同庁舎 | <ul style="list-style-type: none"> 宮城県仙台市 新潟県東蒲原郡阿賀町 秋田県雄勝郡 岩手県久慈市 新潟県東蒲原郡 岩手県九戸郡 宮城県多賀城市 山形県西山町 宮城県多賀城市 宮城県仙台市 岩手県下閉伊郡山田町 福島県相馬市 宮城県仙台市 岩手県上閉伊郡大槌町 宮城県仙台市 福島県相馬市 宮城県仙台市 | <ul style="list-style-type: none"> 女川原子力作業所溢水防止壁設置工事に伴う親杭工 二級河川甲子川筋甲子川水門土木工事 七ヶ宿2期地区 (県営中山間) 関用水路 七北田川河川災害復旧工事 (その3) 道路橋りょう整備工事 代ヶ崎清水防潮堤外災害復旧工事 TDK (株) MCC象潟工場解体工事 東北大学 (青葉山1) 杭引抜工事 新岩手教育会館建設工事 国道45号外千徳小山田道路工事 田鎖トンネル下部工工事 東北自動車道 奥州スマートインターチェンジ工事 東和薬品 (株) 山形工場新棟他建設工事 玉川第二発電所新築工事 (市) 高畑定義線 (高畑地区) 仮橋設置工事 (その1) 大熊町中間貯蔵施設 籠山導水ポンプ場洗砂池築造工事 | <ul style="list-style-type: none"> 宮城県牡鹿郡女川町 岩手県金石市 宮城県刈田郡七ヶ宿町 宮城県仙台市 福島県南会津郡只見町 宮城県宮城郡七ヶ浜町 秋田県にかほ市 宮城県仙台市 岩手県盛岡市 岩手県宮古市 岩手県宮古市 岩手県奥州市 山形県上市市 山形県西置賜郡小国町 宮城県仙台市 福島県双葉郡大熊町 宮城県気仙沼市 |
|--|---|---|--|





 しぎ はら
株式会社 鳴原基礎

〒982-0231 宮城県仙台市太白区坪沼字境田137-1
TEL.022-343-6111 (代) FAX.022-343-6110
E-mail: office@shigiharakiso.co.jp

<http://www.shigiharakiso.co.jp>